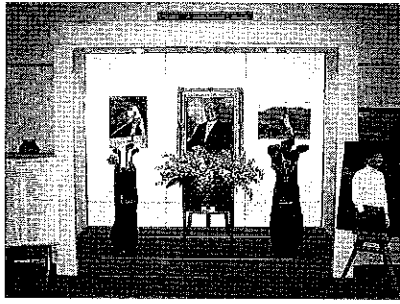


シニア 北 辰久
成年女子 北 泰善
シニア女子 辻 恵美
〈三重県ゴルフ連盟〉
・県民ゴルフ決勝大会

11月29日 シャンククラシック
男子60歳未満 村田仁志
60歳以上 服部 武
女子50歳未満 藤岡芽以
50歳未満 西村雪代

第6回大川清杯開催

日本アマ、韓国アマ、世界シニアアマなどを制し、アマチュアゴルフファーストにその名を刻み、さらにオリムピックゴルフ倶楽部の創始者である故・大川清氏のこれまでの功績を称えて発足した「大川清杯」の第6回大会が11月18日(日)に同コースで開催された。



大川 清杯

故大川氏は平成23年1月20日、心不全のため享年84歳で惜しまれつつ永眠。同コースの会員からは天性の才能、剛気不屈の精神、それに人間味豊かな性格をもって「親父」「兄貴」と慕われてきただけに、たくさんの方が心から悲しみに打ちひしがれた。

この会は故人の生前である6年前に同コースの会員から発足の声が上がリ、各委員会の賛同を得た後、会員全体によって立ち上げられたもので、毎回和気あいあいとした雰囲気の中、アットホームな懇親コンペとして定着している。

当日は前日の大雨とは打って変わリ、故大川氏の人柄を表すかのように秋晴れの絶好のコンディションに。気温も上昇してゴルフ日和のなか148名が参加してゴルフ仲間との18ホールを愉しんだ。また昨年会員有志からの寄付も得て完成した「故大川清肖像画」も生前の使用クラブとともに展示された。

なお同コースでは2013年は男子ツアー「第79回関西オープンゴルフ選手権競技」も8月22、25日に開催

茨木国際GC

催されることが決定。すでに17番ホール、18番ホールに広がる名物の池を拡張するなど、戦略的なコース改造を進行中だ。

茨木国際GC

リニューアルオープン

茨木国際ゴルフ倶楽部(茨木市、27日)は、3年間を費やして行った改修工事を終えて平成24年12月1日にリニューアルオープンした。

主な改修内容は、全ホールの1グリーン化とベントに統一、全ホールのレディーステアー新設、バンカーの改修、アプローチエリアフェアウェイとラフの芝生張替え、樹木の伐採など。
☎072(643)5931



茨木国際GC

テクノアドバンスが考える省エネ：第22弾 20回を振り返って...その3

2012年の省エネについて総括してみたいと思います。

前年の東日本大震災の翌年ともあって、この年は省エネへの関心が今まで以上に現実的なものへと変わって年でもありました。

また夏には、再生エネルギーの固定買取制度も施行されました。とはいえ、再生エネルギーと言っても、まだまだ太陽光発電が主な手法で、その他の手法はあまりもてはやされることは無かった様に思います。

前述の震災でも分かるように、地震国である我が国は、地熱発電の技術においても世界的に見てもトップクラスであるにもかかわらず、コスト面などの問題からこの技術は主に海外でその実力を発揮しているようです。

風力の利用に至っては、大規模なものは随分見かける様になりましたが、設置の条件が制限されたり、やはりコスト面においてなかなか一般的に普及すると言った具合には行きません。

震災から1年と10カ月がすぎましたが、震災後のある意味「省エネ元年」と思われる2012年から2013年のもっと幅広く色んな角度から新たな動きが出てくると思います。

かの原子力発電において、いまだに賛否両論あり、また、敦賀原発下の断層が活断層であることを認めざるを得ないとの発表も記憶に新しいところです。

ここは廃炉に向かつて動き出すとのこと。

衆院選挙も終わりましたが、種々の問題が山積する日本の将来を担う大事な選挙となりました。省エネの動向にも大きな影響を与える事になるでしょう。

新しい年も、省エネルギーについて弊社なりに取り組んでいる手法や事例を紹介しつつ、いろいろな視点や角度から分析して見たいと思います。

この1年ありがとうございました。平成25年もよろしくお願いたします。

テクノアドバンス株式会社
環境開発事業部 森脇玉秋
☎06-6390-1503

※大甲賀カントリークラブ前支配人川口秀三氏12月に退任、新支配人に大場昭範氏(大場商事・専務取締役)が11月10日就任。